

AMBITIOUS #092

三重県津警察署

交通総務係・タガログ語通訳官

頑張った分 努力は結果になる!

紹介企業情報 / 三重県警察本部

- 住所 津市栄町1-100
- URL <http://www.police.pref.mie.jp/>
- 勤務時間 8:30~17:15
- 休日 土曜日、日曜日、祝日

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→警察官採用試験に合格→警察学校に入校→交番勤務を経験→交通総務係へ配属



アンビ
ジャスト

交通総務係・タガログ語通訳官

——学生時代

「歴史が大好きで、高校時代は歴史小説をよく読んでいました。特に好きな作家である司馬遼太郎さんの著書を読んで、開国した日本が列強諸国に並ぼうと努力する様子を想像して胸を熱くしていました」

大学時代について教えてください。

「歴史の先生をめぐっていたため、教員免許を取得するカリキュラムのある皇學館大学(※)へ進学しました。進路については、1年次の終わりごろから、教員と同じくらい警察官になりたいと考えるようになりました。子供への犯罪が頻繁に報道されている状況に対し、自分が警察官となって犯罪を減らしたいと思ったことがきっかけです。学生時代は、歴史の研究をしながら、教員免許の取得や警察官採用試験の勉強をし、興味のあることすべてに全力で取り組みました。進路はギリギリまで悩みましたが、4年次に警察官採用試験の合格通知を見たとき、警察官になろうと心を決めました」

——仕事について

「警察学校、交番勤務を経験したあと、フィリピンの公用語でもあるタガログ語の通訳官になるために2年間東京で研修を受けました。研修を終えて、今年の3月から津警察署交通総務係として勤務しています。仕事内容を簡単に教えてください。」

「主に交通総務係とタガログ語の通訳官、2種類の仕事があります。交通総務係の仕事では、運転免許証に関する事務や、交通事故を防



止するための交通安全活動などをおこなっています。不慣れな部分もありますが、早く仕事を覚えられるよう、メモをとったり、何が求められているかを先回りして考えることを心がけています。通訳官としては、タガログ語を話す被害者の通訳や、被疑者を調べる際に通訳官として立ち会い、日本語通訳をおこなうことで犯罪捜査に携わっています」

通訳官をめざしたきっかけは?

「警察学校での研修中、さまざまな語学の通訳官が外国人の言葉の架け橋となって、治安の維持に貢献していることを知りました。私は、英語が苦手でもっていましたが、初心者でも語学研修を受けることができ、頑張れば通訳官として社会に貢献できる技術を身につけられることがわかったので、タガログ語の研修にチャレンジしたのです」

——やりがい

「通訳官として調べに立ち会っている最中、言葉が通じず不安そうにしていた被害者から「私の気持ちをわかってくれてありがとう」と言われたときは、「この仕事をしていてよかった」とやりがいを感じました」

——なるためには

「警察官採用試験に合格する必要がある。その後、警察学校での体力強化したり、警察官としての基礎的な知識や能力を身につける必要があります。『その人のために何かをしたい!』と心から思える人であれば、外国語に苦手意識をもっていた私がタガログ語を習得できたように、警察学校での訓練も乗り越えられると思いますよ。また、通訳官の採用枠もありますので、興味のある方は、ぜひ警察官の採用試験にチャレンジしてみてください」

ありがとうございました。

は しば りょう こ 羽柴 良子 さん

平成3年生まれ 皇學館大学文学部卒業

出身高校 桑名高校

19歳
24歳
26歳

小さな子供が被害にあう犯罪報道を頻りに見たことで、犯罪を減らすために警察官になりたいと思いはじめた。

2年間、タガログ語習得のために東京で研修を受ける。研修後、津警察署へ。

交通総務係・タガログ語の通訳官として、社会に貢献できるような奮闘する日々。



※文学部国史学科

AMBITIOUS #093
株式会社百五銀行
銀行員(渉外係)

向上心!!



アンビ
ジャス的

紹介企業情報/ 株式会社百五銀行

- 住所 津市岩田21-27
- URL <https://www.hyakugo.co.jp/>
- 勤務時間 8:45~17:15
- 休日 土曜日、日曜日、祝日

なるためには

- 必要資格 / 証券外務員 ※入行前の取得を推奨
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、銀行法などについて学ぶ
→証券外務員の資格を取得→銀行に入行→後方事務や窓口などを
経験→渉外係へ配属

——学生時代

「高校時代は野球漬けで部活の思い出しかないくらいです。当時は野球の指導者になりたいと思っていました。でも最後の大会直前にケガをしてしまい、実技試験がある体育学科を受けられなくなってしまうんです。そこで大きな方向転換をしなければいけなくなりました。最初は落ち込みましたが、負けず嫌いな性格が育まれましたし、部活の経験は無駄になっていません。次の目標として漠然と公務員をめざし、愛知学院大学に進学しました」

「法律について学びました。なかでも主に勉強したのは会社法について。卒論では銀行法を調べ、リレーシヨシップバンキングについて研究しました。就活では、いろんな方に会って話を聞く機会をたくさん作りました。私が最終的に銀行員をめざしたのも、愛知学院大学OBの方の人間性に惹かれたからです。大きな夢と将来のビジョンをしっかりともっているその姿に憧れ、自分も人間性を成長させたいと思い、百五銀行の採用試験を受けました」

「内定から入行までに、証券外務員資格を取得しました。入行後に研修を受けながら資格の勉強をするのは大変なので、事前に取得しておいて本当によかったです。最初に先輩から、『百五銀行という看板を背負っている』という言葉を常に意識することが大切だと教わりました」

銀行員



仕事を覚える流れは？

「まずは、投資信託や預金の種類など商品知識の勉強からです。最初に配属されたのは、銀行内の現金管理をおこなう出納係。その後、預金の後方事務、事業性融資、ローン関係の窓口を経験し、現在の法人渉外の担当になりました」

現在の仕事内容を教えてください。

「新しく設備を入れたり仕入れ用に資金が必要な会社に対する融資がメインです。あとは、会社間のビジネスマッチングもしています。ほかにも会社の代表者や従業員の資産運用、年配の方であれば相続の相談を受けることもありますし、一言では言い表せないですね。心がけているのは、向上心をもつこと。私は、入行したときからいまでも『誰にも負けたくない』という思いをもって、がむしゃらに取り組んでいます」

——やりがい

「最初は『百五さん』と言われていたのが、ある日から『中川さん』をお願いしたいと言われることがあるんです。自分の人間性を評価してもらえたという自信にもなりますし、大きなやりがいを感じます」

——なるためには

「証券外務員は、入行前に取得しておくことをおすすめします。私は入行後、保険の販売資格、FP2級銀行業務検定2級・税務・財務・法務を取得しました。入ってから感じたことですが、思ったより資格試験が多い(笑)。向上心をもっていてもあれば成長できる業界だと思います。高校時代、何かに特化して取り組むことも大切ですが、いろいろなことに挑戦してみてもいいと思います。いろいろな人との出会いから自分の進む道を探してください！」

ありがとうございました。

なか がわ まさ かず
中川 政和 さん

平成4生まれ 愛知学院大学法学部卒業

出身高校 神戸高校

- 18歳 野球漬けの毎日。最後の大会直前にケガをし、将来のビジョンを見つめ直す。
- 22歳 愛知学院大学で法律を学ぶ。OBの話聞き、銀行員をめざす。
- 25歳 百五銀行に就職し、渉外係として勤務。向上心をもちつづけ、日々がむしゃらに仕事に取り組む。



AMBITIOUS #094

ANAエアポートサービス株式会社
グランドスタッフ

チーム力を
発揮する!!



アンビ
ジャスト

紹介企業情報/ ANAエアポートサービス株式会社

- 住所 東京都大田区羽田空港3-4-2
 - URL <https://www.anaas.ana-g.com/>
 - 勤務時間・休日 土曜日、日曜日、祝日を含む交替制勤務(早朝・深夜・夜勤あり)/1日実働 平均約7時間35分
- 5:00~14:00(早番)、12:00~21:00(遅番) ※例として

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学で語学を学ぶ→海外留学を経験→エアライン業界に就職→グランドスタッフとして勤務

グランドスタッフ

学生時代

「エアライン業界で働きたいと思ったのは、初めて飛行機に乗った小学生のとき。制服を着て働くみなさんが純粹にかっこよく、『あんな風に働きたい!』と思いました。でもそのときは、ただの憧れ。その後、高校の修学旅行で宮崎に行ったのですが、そのときにグランドスタッフの仕事内容が少しわかり、憧れから具体的な目標に変わりました。名古屋学院大学の外国語学部に進学したのも、エアライン業界でいかなる語学力を身につけたかったからです」

大学時代について教えてください。

「英米語学科だったので、英語を中心に学び、実践的なコミュニケーション能力を養うことができたと思います。2年次に半年間、カナダのトロントへ留学した経験も大きいですね。もちろん語学の勉強になりましたし、日本の良さを世界に伝えたいという思いが芽生えました。就職活動では、エアライン業界で働いている大学の先輩に話を聞いたり、エアラインスクールにも通って試験対策をおこなったりしました」

仕事について

「大学卒業後 ANAエアポートサービスに就職しました。最初の1ヶ月間は、みっちり研修。チェックインをおこなう端末の操作方法、チケットの種類、接客の立ち居振る舞いなどを勉強しました。研修後は、OJTというかたちで先輩にうしろに付いてもらい、実践を通して仕事を覚えていきました」

現在の仕事内容を教えてください。

「お客様の飛行機の旅が快適なものになるようにサポートする仕事です。具体的には、航空券の発券や搭乗手続きをおこなうカウンター業務。時間通りに飛行機が発発できるよう、搭乗口でお客様を機内へ案内してお見送りする搭乗ゲート業務、到着ゲートでのお迎えなどが現在の主な仕事内容になります」

今後の目標を教えてください。

「いまは羽田空港で国内線を担当していますが、今後は国際資格を取得して、国際線への乗り換え業務を担当する部署でも働きたいです。あとは、常にお客様の立場に立った対応のできるグランドスタッフが私の目標です」

やりがい

「最近、飛行機のドアを閉める最終工程を担当できるドアクローズ資格を取得しました。私がドアを閉めて飛行機が発発する瞬間。そのときに改めて、いろんな部署の人たちの協力があったてが発感できます。それができていることを実感します。その瞬間に大きなやりがいを感じます」

なるためには

「必要な資格は、入社してから取得しています。必須ではありませんが、語学力は強みになると思いますが、外国のお客様も多く、英語を使って話さないといけない場面もあるので、私は大学で身につけた語学力が役に立っていると感じます。あとは、走り回ることも多いので、体力も必要な仕事ですよ。高校時代、趣味でも勉強でも何でもないので、何か夢中になれるものを見つけ、それに打ち込んでほしいです!」

お忙しいところ、ありがとうございます。

山下 友紀乃 さん

平成6年生まれ 名古屋学院大学外国語学部卒業

出身高校 高田高校

- 18歳 小学生のときからの憧れだったグランドスタッフが明確な目標に。
- 22歳 名古屋学院大学に進学し、語学を学ぶ。半年間、カナダへの留学も経験。
- 23歳 ANAエアポートサービスに就職し、グランドスタッフとして勤務。快適な飛行機の旅を支える。



AMBITIOUS #095
桑名市総合医療センター
臨床工学技士

後悔の無い
選択をしよう!!

紹介企業情報/ 桑名市総合医療センター

- 住所 桑名市寿町3-11
- URL <http://www.kuwanacmc.or.jp>
- 勤務時間 8:30~17:15
- 休日 週休2日制

アンビ
ジャスト

なるためには

- 必要資格 / 臨床工学技士
- 主な進路 / 高校卒業→養成課程のある大学に進学→国家試験に合格して臨床工学技士の資格を取得→病院に就職



臨床工学技士

——学生時代

「部活をして勉強も時々して(笑)、友達と遊んだり、いたって普通の高校生でした。進路については、中学生のころから漠然とですが、兄の影響もあって臨床工学技士が放射線技師になりたいかと思っていました。自分も資格をいかした仕事に就きたいという思いが強かったです。高校卒業後、鈴鹿医療科学大学臨床工学科に進学しました」

大学時代について教えてください。

「医学の基礎となる生理学や解剖学も学びましたし、電気工学や機械工学、材料工学など工学的な専門分野の知識も学びました。4年次には、1ヶ月半の臨床実習に行きました。現場で学んだのは、血液中の老廃物などを取り除く人工透析装置、手術中に心臓と肺の代行をする人工心肺装置など医療機器の取り扱いについて。学校の実習と違い、「患者さんが存在している」ということは意識の面で大きかったですね。仕事に対する責任の重さを実感しました。臨床実習を通して、「患者さんのための医療」という意識が大切だということも感じました。この意識は、いまでも常に大切にしています」

——仕事について

「臨床工学技士の資格を取得し、桑名市総合医療センターに就職しました。最初は先輩に付いてもらって仕事を教わります。部署によって仕事内容は違うのですが、僕は内視鏡、胃カメラのファイバースコープの洗浄などを最初に任せられました」



最初に苦労したことは？

「医療機器は種類がたくさんあり、メーカーによって特徴が違います。最初はそれを覚えるのに苦労しました。さらに、最新の医療機器や医学知識がどんどん生まれてくるので、常に勉強しつづけることが大切です。現在2年目。まだまだわからないことも多いので、経験を積みながら知識を増やしている最中です」

現在の仕事内容を教えてください。

「医療機器を取り扱う人だと思ってくれたら、わかりやすいと思います。工学知識と医療知識をいかに人工透析装置や人工心肺装置、人工呼吸器(写真1)、持続的血液浄化装置(写真2)など、さまざまな医療機器の操作や点検、メンテナンスをおこなっています」

——やりがい

「患者さんに「ありがとう」と、よこんでもらえることが仕事のやりがいです。生命維持に必要な機器を扱うこの仕事には大きな責任がともないですが、その分やりがいも大きいです。また、自分のできる仕事や新しい知識が増えていくことに、もよろこびを感じています」

——なるためには

「国家試験に合格し、臨床工学技士資格を取得する必要があります。受験資格は、養成課程がある大学で指定科目を修了すると得られます。まずは、オープンキャンパスなどに参加して自分に合う大学を探してみてください。活躍の場としては、病院以外にも医療機器メーカーで活躍している先輩もたくさんいますよ。高校生のみなさんは、未来を考えたうえで、3年間とりあえず全力で楽しんでください！」

お忙しいところ、ありがとうございました。

こ じょう たく や
古城 拓弥 さん

平成7生まれ 鈴鹿医療科学大学医学工学部卒業

出身高校 木本高校

18歳 兄の影響もあり臨床工学技士をめざす。鈴鹿医療科学大学に進学。

22歳 医学・工学の基礎を学ぶ。国家試験に合格し、臨床工学技士資格を取得。

23歳 人命に関わる責任の大きな仕事。常に新しい知識を吸収しながら、医療機器の操作や点検、保守に取り組む。





挫折を乗り越える方法。壁にぶつかっている人へのアドバイスは？
「つらいときに頑張るのは当たり前なので、とにかく結果を出すしかないって思っていました。あと僕は、けっこう本を読みましたね。偉人の名言や勇気をもたらえる言葉を読んだり。あとは同期がみんな仲が良かったので、相談のつてもらったりもしました。自分の中の毒を出しながら、結果が出るまでひたすら練習に取り組みました」
大学卒業後のビジョンは？
「プレミア(※)でプレーしたいと強く思うようになりました。まさか入れると思っていなかった。大分三好ヴァイセアドラーに入団できたのはうれしかったです。感じたのは、「強く思うこと」で夢が叶うということ。底辺のチームからインカレ

優勝に絡めるころまでいって、プレミアでプレーできるといえるのは、強く思い続けたことが結びついた結果だと思えます。意識を変えて練習に取り組みと結果がついてくる。メンタル面も重要なスポーツです」
チームに入団するには？
「スカウトされるケースもありますし、僕は自分から行動しましたね。監督にプレミアでプレーしたい」とい思いを伝えました。僕は思ったことは行動にすぐ移しちゃうタイプなので笑。それでトライアウト的な感じで練習に参加し合格して入団することができました」

「バレーボールは、ボールを一瞬しかさわれません。持ったらアウトですし、合計3回しかさわれない。なので、一瞬の判断が要求されるスポーツです。『ひろく』『つなく』『打ち込む』といったプレーを通し、チームで協力して1点を狙う。それがバレーボールの魅力ですね」

「練習試合でも公式戦でも、一生懸命やって1点をとる。指導者としては、その姿を見るのがやりがいです。そのうえで試合に勝てたら、もっとうれいんです。負けているときもよぼんとするのではなく、負けていても楽しくプレーする。そして勝ったらみんなでよろこびあつ。その気持ちを伝えていきたいです」
「プレーヤーとしてのやりがいは？」
「試合に勝つことですね。25点を3回とってやっとな安心する感覚です。24対19で勝っていたんですけど、そこから1点もとれずにひっくり返されたことが大学と社会人で2試合ありました。どれだけリードしていても安心できません。やりがいというよりは、安心(笑)。あとは、やっぱり優勝するしかないですね。2位以下は一緒だと思っているので、優勝してやっとな喜びを感じます」



「練習試合でも公式戦でも、一生懸命やって1点をとる。指導者としては、その姿を見るのがやりがいです。そのうえで試合に勝てたら、もっとうれいんです。負けているときもよぼんとするのではなく、負けていても楽しくプレーする。そして勝ったらみんなでよろこびあつ。その気持ちを伝えていきたいです」
「プレーヤーとしてのやりがいは？」
「試合に勝つことですね。25点を3回とってやっとな安心する感覚です。24対19で勝っていたんですけど、そこから1点もとれずにひっくり返されたことが大学と社会人で2試合ありました。どれだけリードしていても安心できません。やりがいというよりは、安心(笑)。あとは、やっぱり優勝するしかないですね。2位以下は一緒だと思っているので、優勝してやっとな喜びを感じます」

井口 拓也さん
平成元年生まれ 日本体育大学卒業

出身高校 海星高校

6歳 先輩に誘われてバレーボールを始める。中学2年のとき、初の三重選抜に。

22歳 日本体育大学に進学し、インカレ優勝を経験。卒業後は、プレミアリーグへ。

29歳 現在は、ヴィアティン三重に所属してプレー。海星高校ではコーチとして生徒への指導もおこなう。

※プレミア：プレミアリーグ。Vリーグ機構が主催する日本の社会人バレーボール・Vリーグの1部リーグ



YOUTH ユースフラッシュ FLASH

積極的にミスしましょう!!

三重出身の有名人インタビュー

海星高校出身のバレーボール選手、井口拓也さんを独占取材!

小学1年生でバレーボールに出会い、大学時代はインカレで優勝、大学卒業後は大分三好ヴァイセアドラーに入団してプレミアリーグでプレー。現在もヴィアティン三重に所属し、バレーボール中心の生活を送っている井口拓也さんに、夢を叶えるために必要なことを聞いてきました。

第7弾

「バレーとの出会い」
「バレーボールを始めたのは、小学1年生のときです。登下校が一緒だった先輩に、「見にいこいよ」って練習に誘われて。昔から身長が高かったので、サッカーとか空手とか、いろんなスポーツに誘われていたんです。全部断っていたんですけど、バレーボールだけは見学していたときも体が勝手に動いていたみたいで、それがスタートですね」
「始めたときは、ずっと続けていくという意識はありましたか？」
「ないですね。将来の夢は大工さんだったんです。でもバレーボール全日本の試合は、ずっと見ていましたよ。バレーボールが特別に楽しいと思ったこともないですね。一生懸命練習をして試合に臨むというのが当たり前のことで、特に意識せずに自然とプレーをしている感覚でしたから。試合に勝ったら、もちろんうれしかったですけど」
「意識が変化したのは？」
「ずっと続けようと思ったのは、中学2年のとき。初めて三重選抜に選ばれたんです。中2、3で三重選抜高校2、3年のときに国体選抜に選ばれました。うちのチームは初心者も混じって練習をするような環境だったので、レベルの高い選手と練習することで刺激を受けましたね」

「大学時代について教えてください」
「大学時代は、本当にバレーボール一色でした。朝から夜までバレーボール。同期が7人いて、みんな春高バレー(全日本バレーボール高等学校選手権大会)の優勝・準優勝メンバーでした。ついていけるのかという不安もありましたけど、絶対に負けないように頑張ろうと思っていました。練習時間はみんな一緒にいたので、どこで差をつけるかという毎日ひたすら練習しました」
「転機となった経験は？」
「インカレ全日本バレーボール大学男女選手権大会で『優勝』という二文字を大学1年のときに味わったことですね。『これが日本一』。優勝なんだ!という初めての感覚。小学生のときに始めましたけど、優勝したのは初めての経験でした。それ以来よりレベルの高い場所挑戦したいという気持ちが芽生えましたね」
「挫折を味わったことは？」
「大学3年の秋です。すごく練習をしているのに結果が出なくて...。あるとき先輩から、『なんでコートに入れているかわかるか? おれが入れてくださいって監督にお願いしたんだよ』って言われて。ベンチに入る人数も決まっています。コートに立てる人数も決まっています。自分には、いろんなものを背負ってコートに立っているんだと気づき、いろいろな思いが駆け巡って隠れて泣きましたね...」

感じたのは、「強く思うこと」で夢が叶うということ。強く思い続けたことが結びついた結果だと思えます。意識を変えて練習に取り組みと結果がついてくる。メンタル面も重要なスポーツです」

選手、コーチとして

「大学卒業後は、大分三好ヴァイセアドラーでプレーし、2016年から海星高校の事務として働きつづバレーボール部のコーチ。現在は、ヴィアティン三重に所属してプレーしています」
「年間のスケジュールは？」
「高校は年間通して、夏のインターハイ、年明けの春高バレーなどの大会が組まれています。大会に向けて、コーチとして中学・高校生へのバレーの指導をおこなっています。どのスポーツも同じだと思います。普通の生活がプレーにも反映されると思っています。自分勝手な生活をしていると、プレーもそういうものになってしまいます。生徒に教えるときは、そういう面から指導するように意識しています。ヴィアティン三重としては、11月から3月までV・チャレンジリーグIIの公式戦が組まれています」

「やりがい」



「練習試合でも公式戦でも、一生懸命やって1点をとる。指導者としては、その姿を見るのがやりがいです。そのうえで試合に勝てたら、もっとうれいんです。負けているときもよぼんとするのではなく、負けていても楽しくプレーする。そして勝ったらみんなでよろこびあつ。その気持ちを伝えていきたいです」
「プレーヤーとしてのやりがいは？」
「試合に勝つことですね。25点を3回とってやっとな安心する感覚です。24対19で勝っていたんですけど、そこから1点もとれずにひっくり返されたことが大学と社会人で2試合ありました。どれだけリードしていても安心できません。やりがいというよりは、安心(笑)。あとは、やっぱり優勝するしかないですね。2位以下は一緒だと思っているので、優勝してやっとな喜びを感じます」



AMBITIOUS #097
スーパーサンシ株式会社
 チェッカー教育担当(スーパーマーケット)

いつも笑顔で
 元気よく!!

紹介企業情報/ スーパーサンシ株式会社

- 住所 鈴鹿市算所2-5-1
- URL <http://www.supersanshi.com/>
- 勤務時間 7:00~16:00、8:00~17:00(実働8時間)
※部署により異なる
- 休日 完全週休2日制

アンビ
 ジャス的

なるためには

- 必要資格 / チェッカー技能検定 ※必須ではない
- 主な進路 / 高校卒業→スーパーマーケットに就職→研修を
 終え、チェッカーとして店舗に配属→チェッカー教育担当

チェッカー教育担当

——学生時代

「部活には入っていませんでしたので、放課後は友達と遊ぶことに徹していました(笑)。就職先にスーパーサンシを選んだのは、担任の先生のすすめがあったから。『ようしゃべるし誰でも仲良くなるから、スーパーもいんじゃないか?』と言われ、地元企業で遠くへの転動もないところに魅力を感じ、採用試験を受けました。中学生のときに職場見学でスーパーサンシに行ったこともあり、教育担当の方がフレンドリーで優しかったという記憶があったのも決めた理由のひとつです」

——仕事について

「入社後、半年間の研修期間がありました。座学では、会社の理念、社会人としての心構えなどを教わりました。店舗での研修は、基本的にはチェッカー(レジ)についてです。あと印象に残っているのは、新入社員みんなで青果の売上を上げるバイナツプル祭りというイベントを担当したこと。イベントを通し、『商品を販売するという』ことを学べたと思います。笑顔で元気よく声をかけをする大切さも実感しました。スーパーには、鮮魚、精肉、お惣菜、青果などの部門がありますが、私はチェッカーとして配属されました。現在の仕事内容を教えてください。」



「部活には入っていませんでしたので、放課後は友達と遊ぶことに徹していました(笑)。就職先にスーパーサンシを選んだのは、担任の先生のすすめがあったから。『ようしゃべるし誰でも仲良くなるから、スーパーもいんじゃないか?』と言われ、地元企業で遠くへの転動もないところに魅力を感じ、採用試験を受けました。中学生のときに職場見学でスーパーサンシに行ったこともあり、教育担当の方がフレンドリーで優しかったという記憶があったのも決めた理由のひとつです」

「何より自宅から通えるのがうれしいです。あとは、お客様に店舗付近の情報も答えてあげられること。たとえば、『この辺にカメラ屋ありますか?』と聞かれても、『その道を少し行くとありますよ』と答えられるのも地元ならではの強みです」

——やりがい

「研修や指導を担当したスタッフがお客様からお褒めの言葉をいただいたり、自発的にレジのスピードを上げようと取り組んでいる様子を見るとうれしですね。指導する立場になり、指導したスタッフの成長がやりがいです」

——なるためには

「スーパーの仕事は、自然な笑顔が大切です。笑顔じゃない人は苦情をいただきます(苦笑)。特別な資格やスキルよりも、いつも笑顔でいる人が活躍できる場所だと思います。より上をめざしたい人には、私も取得しましたが**チェッカー技能検定**という資格もありますよ。高校を卒業すると、友達と会う時間も少なくなってきました。いまのうち、仲のいい友達とたくさん遊んでおいてほしいですね!」

もり やま はる な
森山 春奈 さん

平成6年生まれ

出身高校 白子高校

- 18歳 友達に囲まれ、楽しい高校生活を過ごす。卒業後、スーパーサンシへ就職。
- 19歳 研修を終え、チェッカーとしてハンター店に配属。
- 23歳 チェッカーの教育担当として、アルバイトやパートナー、新入社員へのレジ指導に精を出す。

不
 自
 転
 車





AMBITIOUS #098
三重コンドー株式会社
 技術課(金型・治具・自動検査装置製作)

コミュニケーションを大切に

紹介企業情報/ 三重コンドー株式会社

- 住所 亀山市能登野町大野2067-2
- URL <http://www.miekondo.jp/>
- 勤務時間 8:00~17:05
- 休日 土曜日、日曜日

アンビ
 ジャス的

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→自動車部品を製作する企業に入社→社内研修でさまざまな部署を回って適性をみる→技術課に配属→QC検定を取得

—学生時代

「バスケットボール部に入っていて、高校時代は部活中心の生活でした。バスケットボールはチームワークで成り立っているスポーツなので、部活を通して協調性などを養うことができました。将来のビジョンは、中学でも高校でも考えたことはありませんでした。そんななかで三重コンドーに就職を決めたのは、企業説明会に参加したのがきっかけ。三重コンドーには、技術や品質保証などいろいろな部署があるので、自分に向いている仕事を見つけられると思ったからです」

—仕事について

「弊社は、主にパイプ曲げ加工やプレス加工で自動車部品を製作しています。入社後、まずは3ヶ月間の研修を受けました。社会人として基本的なことを学ぶことから。その後、さまざまな部署を1週間ずつ回って自分の適性などをみていきます。回った部署は、技術課、製品の品質を確認する品質保証課、製品のデリバリー等を管理する業務課、生産課など。研修後、僕は技術課に配属されました。配属後、先輩に教わったことは、コミュニケーション能力が大切だということ。他部署としっかり連携をして進めることが重要だと感じました」

「仕事内容を簡単に教えてください。」

「僕の部署では、生産課で製品を量産するために必要となる金型・治具・自動検査装置などの設計製作を行っています」

製作の流れを教えてください。

「まず、顧客先の部品データを基にCADを使って金型の設計を行います。次にボール盤(写真1)で鋼材に穴を開け、フライス盤、マシンニングセンター、ワイヤーカット(写真2)という加工機で金型の形に鋼材を削っていきます。その後、金型に焼きを入れて硬くしていきます。出来上がった金型で部品を製作し、製作した部品を品質保証課で計測機器を使ってチェックしてもらい、高品質なものに仕上げていきます」

心がけていることは？

「誤差が0.02ミリあるとNGの製品もあり、かなり精度が求められる仕事です。高い品質を保ちつつ、製作スピードも意識しています。当部署では、金型の修理も行っているのですが、いつ修理依頼がきても対応できる体制を整えています」

—やりがい

「ひとりですべてをこなしているわけではないので、コミュニケーションを大切に、みんなで協力してひとつの製品を完成させたときに味わう達成感がやがいのひとつですね。あとは、徐々に複雑な製品も任せられてきているので、そういう瞬間に自身



の成長を感じてうれしくなります」

—なるためには

「僕は品質管理に関するQC検定を入社後に取得しましたが、入社前に必要な資格は特ありません。やる気さえあれば、製造の現場で活躍できると思います。高校生のころ、「学校で勉強することなんて、社会に出たらどうせ使わないだろう」と思っていました。でも就職してみると、数学の計算方法が必要だったり、いま勉強し直しています(笑)。いま必要ないと思っても、勉強はしっかりしておいたほうがいいですよ!」

ありがとうございます。

ちゅう じょう かい と 中條 魁斗 さん

平成9生まれ

出身高校 石薬師高校

- 18歳 部活中心の高校生活。卒業後、三重コンドーに就職。
- 19歳 さまざまな部署を回って研修を受ける。研修後、技術課に配属。
- 20歳 コミュニケーションを大切にし、高品質な金型の製作に取り組む。





AMBITIOUS #099
UMIDASデザイン事務所
WEBデザイナー

将来は先にしかなくして
今は今しかない

紹介企業情報/ UMIDASデザイン事務所

- 住所 四日市市泊町10-8
- URL <https://umidas-web.com/>
- 勤務時間 9:30~18:30
- 休日 土曜日、日曜日

アンビ
ジャス的

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→専門学校に進み、インテリアデザインやグラフィックデザインの基礎を学ぶ→独立してデザイン事務所を開業

WEBデザイナー

——学生時代

「高校2年生の夏、たまたま本屋で開いたインテリアデザインの本がきっかけでデザインに興味をもちました。そのときは四日市工業高校に通っていたのですが、デザインを学びたいという意思が固まってからは、工業科目がまったたく頭に入ってこなくなってしまう。その後、北星高校に転入して、独学でデザインの勉強を始めました。前の高校を辞めるとき担任の先生から『準備は周到に、行動は大胆に』という言葉を覚えておきなさいと言われました。その言葉は自分の基礎になっけています。いまでも、仕事をするなかでよく思い出す言葉ですね。高校卒業後は名古屋モード学園インテリアデザイン学科に進み、内装デザインなどを学びました」

——仕事について

「2才のときに独立してデザイン事務所を立ち上げました。最初のころは、マンションの1室のリノベーションや改装イメージのベース制作が中心。その後、時代に合わせてグラフィックデザインやWEBデザインにシフトしていきました」

現在の仕事内容を教えてください。

「誰もが違和感なく安心して読むことや見ることができたり、見た瞬間に惹きつけられたり。そういうデザインを意識して仕事をしています。メインはWEBサイトの制作ですが、飲食店のメニューや看板、チラシなどのグラフィックデザインもおこなっています」

「まずはヒアリングから。それをもとに概算の見積を出させていただいて、見積が通れば、本格的な構成の打ち合わせに入ります。打ち合わせ内容をもちにデザインを進め、修正等を重ねていきます。お客様に確認していただき、オッケーをいただければWEBサイトを公開します」

心がけていることは？

「お客様に言われたことだけをやるのではなく、結果が出るように、こちらから見せ方や打ち出し方を提案することですね。デザイナーの仕事は、見た目がいいものを作るだけではありません。見た目だけのデザインは、無料のアプリでも作れる時代です。集客や売上など、結果につながる仕事を心がけています」

——やりがい

「やりがいを感じるのには、売上や反応に思い通りの結果がでたときや、お客様が笑顔になる瞬間を見たときですね。いいデザインというのは、『自分、お客様、お客様のお客』の3人がワクワクできるものだと僕は思います。それが達成できたときは本当にうれしいですね」



仕事の流れを教えてください。

「なかに『デザイン=センス』と思う人が多いと思いますが、僕はセンスではなくて努力が必要な仕事だと思っています。センスは関係ない。みなさんの普段の生活のなかにあるものは、デザインされたものしかありません。それを意識するだけで、生活に彩りを感じますし、感性が養われると思います。高校生に伝えたいのは、『将来は先にしかない。今は今しかない』ということ。今を大切にして高校生活を送ってください。お忙しいところ、ありがとうございました。」

ほり うち ゆき ひろ
堀内 敬弘 さん

平成2生まれ

出身高校 北星高校

18歳 たまたま開いた本をきっかけに、デザインの道に進むことを決心。

22歳 デザイン事務所を開業。インテリアデザインから徐々にグラフィックやWEBの分野にシフト。

28歳 見た目だけでなく、結果につながるデザインを心がけ、日々の仕事に励む。



AMBITIOUS #100
九鬼産業株式会社
 リクルーター(ごまの総合メーカー)

楽しく情熱を捧げよう!



紹介企業情報/ 九鬼産業株式会社

- 住所 四日市市中納屋町8-18
- URL <http://www.kuki-info.co.jp/>
- 勤務時間 8:30~17:15
- 休日 土曜日、日曜日、祝日

アンビ
 ジャス的

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学で生物学を学ぶ→大学院に進学、研究室で知識を深める→食品メーカーに就職、総務部に配属

——学生時代

「高校生のときにラグビーを始め、高校生活の第一優先は部活でした。オープンキャンパスで三重大学の研究室を見学したときに、イラガという蛾の幼虫の毒について研究しているのを見て興味をもちました。目標を見つけたことが原動力になり、受験勉強にも励みました」

——大学時代について教えてください。

「生物資源学部の生物圏生命化学科というところで、化学を通して生物のことを研究しました。結局、もっと研究を追求したくて大学院まで進みました。印象深かったのは、毒液の研究のために朝から晩まで夏中、虫取りをしたことですね。イラガの棘には毒があって触ると痛いんです。そのイラガを顕微鏡でのぞき、ピンセットで背中中の棘を刺激して出てきた毒液を回収していく。その毒に含まれる痛みを引き起こす物質を探索していました」

——仕事について

「研究室で培った知識も役立つと思いい、「ごま」の総合メーカーである九鬼産業に就職しました。面接では開発部を希望しましたが、最終的に決まったのは、勉強してきたことは畑違いの総務部。衝撃すぎて、アゴが外れたかと思いましたが、よ…(笑)。最初はすごく悩みましたが、いまでは楽しく仕事に取り組んでいます」

——研修について教えてください。

「当社の特徴は、農業研修があることです。4月から9月まで、自社農園でごまづくりを経験します。ごま



がどのように育つのかを1から学ぶことで、自社製品に対する愛着が生まれました」

——現在の仕事内容を教えてください。

「表には出ない縁の下の力持ちです。会社のイベントの運営、経理、保険に関する業務、採用活動などを任されています。1月から5月までは大学生向けの求人活動。4月は新入社員が入ってくるので、社員研修などをおこないます。5月から9月まで損害保険の見直し。7月は高校生向けの工場見学。当社は10月決算なので11、12月は決算処理をします。11月は、業績報告会に向けた準備があります。外からだと、なかなか見えにくい部分ですが、責任のある仕事にやりがいを感じています」

——やりがい

「多様な仕事がありますが、なかでもやりがいを感じるのは採用活動です。会社をいかに『楽しそう』『ごまっておもしろそう』と、学生に興味をもってもらうかが重要です。説明をする人がつまらない人だったら、『この会社もつまらないだろうな』って思われてしまいますからね。水谷さんが笑顔で説明を

リクルーター

みず たに ゆう すけ
水谷 祐輔 さん
 昭和63年生まれ 三重大学大学院修了

● 出身高校 **川越高校**

18歳 三重大学に合格して、大好きな生物の研究に没頭する。

24歳 大学院修了後、九鬼産業に就職。予想外の総務部に配属される。

30歳 採用活動を担当しながら、経理やイベント準備などをおこなう。縁の下の力持ちとして会社を支える存在に。



「学生時代は、学生しかできないことをしたほうがいいですよ。説明会でよく聞かれるのは、資格をとったほうがいいかということ。資格はあっても困らないかもしれないですが、それが本当にやりたいことなのかを考えてみてください。なんとなく資格をとるくらいなら、心から打ち込めることをしたほうがいい。それが自信につながると思います」

ありがとうございます。

——なるためには

「学生時代は、学生時代の声から面接を受けてほしいですね」とうれしかったですね